

2024 年 10 月 2 日

稼働済み屋根置き型太陽光発電事業への出資について ～国内 58 カ所 15.5MW の発電プロジェクトに参画～

株式会社山善（本社：大阪市西区／代表取締役社長：岸田貢司 以下、当社）は、北関東～中四国エリアに設置されている稼働済みの屋根置き型低圧太陽光発電所 58 カ所（出力計 15.5MW/DC）の発電プロジェクトに参画する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。当社から発電所を保有する特別目的会社に対して出資を行い、約 20 年間に渡って発電所の運営を支援していく予定です。



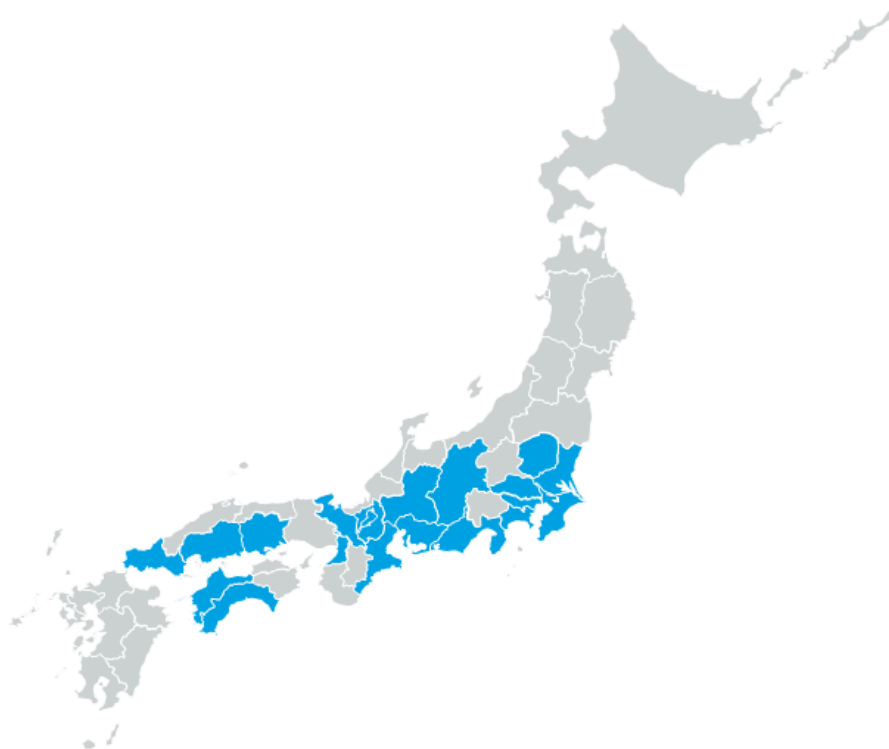
当社は、2021 年 10 月より、Daigas エナジー株式会社（本社：大阪中央区／代表取締役社長：福谷博善 以下、Daigas エナジー）と共同ブランド「DayZpower（デイズパワー）」を立ち上げ、コーポレート PPA 事業※1を展開し、当社の仕入先企業を中心に、再エネ電気供給を推進しています。そのような中、2050 年カーボンニュートラル社会の実現を加速させることを目的として、従来のプライマリー市場（自社電源開発事業）に加えて、セカンダリ市場（稼働済み電源支援事業）に参画します。

今回の事業参画により、当社が管理・運営する太陽光発電設備のサイト数は、プライマリー6サイト（稼働前設備含む）、セカンダリー58サイトの合計64サイト、出力は合計約21.3MWとなる予定です。今後も、コーポレート PPA 事業の推進や太陽光発電設備への投資を通じて、さらなる拠点数と発電規模の拡大を目指していきます。

当社は 2030 年企業ビジョンを実現する上での重要課題の一つとして、「グリーンビジネスの拡大」を特定しています。従来の「コーポレート PPA 事業」や「グリーンボールプロジェクト」※2に加え、今回の再生可能エネルギー発電所への投資等を通じて、環境活動とビジネスの両立を推進しながら、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

◆今回の事業参画による発電設備所在都道府県

(発電設備のある都道府県を青色でハイライトしています)



◆当社のコーポレート PPA 事業について

当社と Daigas エナジーは、2021 年 10 月にコーポレート PPA 事業における基本業務提携契約を締結し、両社で共同のブランド「DayZpower (デイズパワー)」を立ち上げました。

直近では 2024 年 9 月 1 日に日本製紙クレシア興陽工場(静岡県)、10 月 1 日に同東京工場(埼玉県)で稼働済みです。2025 年 1 月には同京都工場(京都府)においても稼働予定です。(詳細につきましては、下記 2024 年 4 月 23 日付のニュースリリースをご参照ください)

<https://www.yamazen.co.jp/news/entry-2077.html>

流通商社の当社としては、今後も仕入先企業を中心に「DayZpower」を提案することで、サプライチェーンとの協働により、CO2 排出量の削減に寄与していきます。

※1: コーポレート PPA とは、「Power Purchase Agreement (電力購入契約)」の略で、発電事業者が自らの負担により太陽光発電設備を無償で設置し、発電した電気を顧客に販売するモデルのことです。コーポレート PPA モデルを採用することで、顧客は設備における初期投資や設備の維持・管理の負担がないというメリットがあります。

※2: 当社は、2008 年より環境優良製品の販売に関する全国規模のキャンペーン「グリーンボールプロジェクト」を展開し、賛同メーカー、参加販売店、ユーザーと環境優良機器の普及に努めてきました。参加企業数は延べ 11,000 社を超えます。2022 年度からは、参加企業に対して、排出量算定用アプリケーション「GBP App (ジービーピーアプリ)」の無償提供を開始し、GHG プロトコルに従ったカテゴリ別排出量などの“見える化”を支援しています。

◆コーポレート PPA 事業「DayZpower」紹介動画

コーポレート PPA 事業「DayZpower」を動画でご説明しております。

動画は、[こちら](#)からご覧ください。



今後も当社は、パーパスである「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かな暮らしをリードしてまいります。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。

閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 広報・IR室 担当 本井

電話 06-6534-3095

E-mail : info07@yamazen.co.jp